

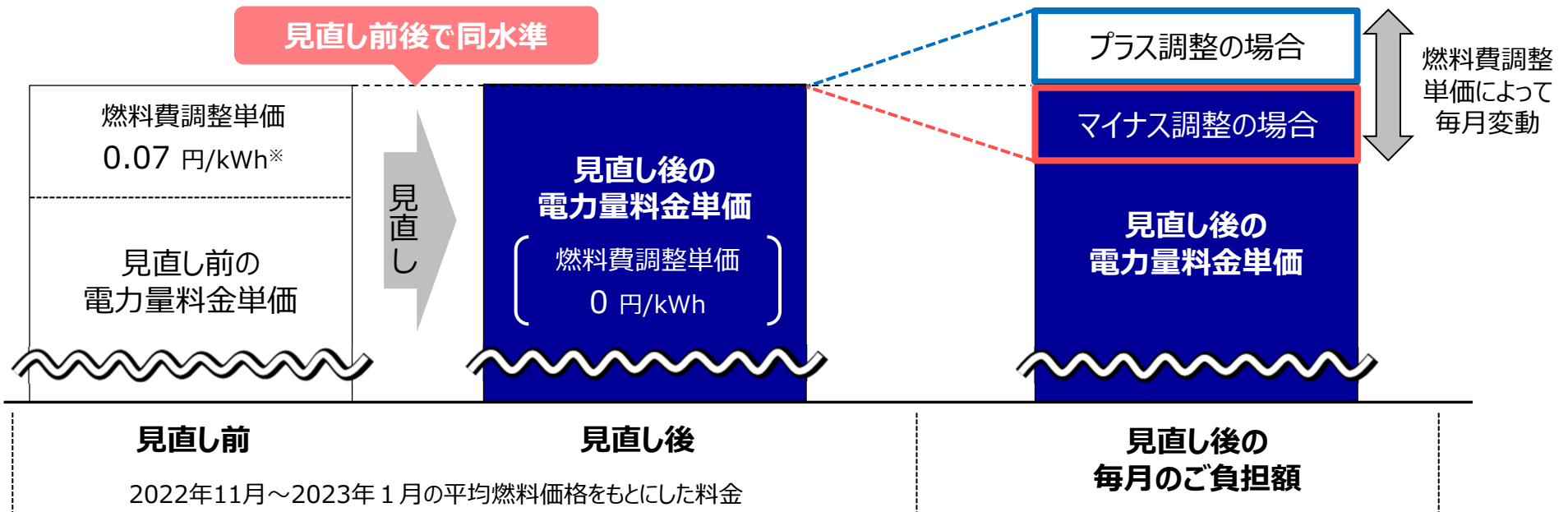
低圧自由料金メニューの見直しについて

1. 燃料費調整単価の算定諸元の見直し

- 料金メニュー比較時などにおけるわかりやすさの観点から、すべての低圧自由料金メニューの燃料費調整単価の算定諸元（基準燃料価格、基準単価など）を、2023年8月適用分から認可された規制料金と同一の諸元に見直します。（算定諸元の詳細は3、4スライド）
- 算定諸元の見直しに伴い、電力量料金単価等も見直し（2023年7月1日実施）となりますが、電気料金全体でのお客さまのご負担は、見直し前後で同水準となります※。

※新たに基準となる燃料価格（2022年11月～2023年1月の平均燃料価格）をもとに算定した場合

■ 電力量料金単価の見直しのイメージ



※ 消費税等相当額を含む。

2. 一部メニューの料金単価の見直し

2

- これまで規制料金と統合的な料金水準としてきた一部の低圧自由料金メニュー（従量電灯ネクスト、節電とくとく電灯、低圧電力ネクスト）については、燃料費調整単価の算定諸元の見直しに加え、認可された規制料金を踏まえて料金単価を見直します。

■ 従量電灯ネクスト・節電とくとく電灯

(円/月・10A、円/kWh)

			現行料金 (2023年4月1日から適用)	改定料金 (2023年7月1日から適用)
基本料金	10A～60Aの場合		302.50	302.50
電力量料金	第1段階 料金	～120kWh	30.27	30.82
	第2段階 料金	121kWh ～300kWh	36.82	34.71
	第3段階 料金	301kWh～	39.72	36.42

■ 低圧電力ネクスト

(円/月、円/kWh)

		現行料金 (2023年4月1日から適用)	改定料金 (2023年7月1日から適用)
基本料金	1 kWにつき	1,226.50	1,226.50
電力量料金	夏季	26.41	26.08
	その他季	26.41	25.02

※ 現行料金、改定料金ともに「消費税等相当額」および「託送料金の見直し相当分(2023年4月1日適用)」を含みます。

※ 現行料金には、2022年11月～2023年1月の平均燃料価格による燃料費調整単価を含みます。

- 今回の料金改定に合わせて、基準燃料価格および基準単価などを見直します。
2023年4月から規制料金と低圧自由料金で燃料費調整単価の算定諸元が異なっておりましたが、今回の見直しによって同一の算定諸元となります。
- なお、直近の燃料価格等を踏まえて火力発電電力量の計画を見直した結果、燃料費調整単価の算定諸元が、規制料金の申請時点から変更となっております。

		改定後 〔規制料金 ・低圧自由料金〕	現行	
			規制料金 (2008改定)	低圧自由料金 (規制料金申請と同内容)
基準燃料価格	円/kℓ	79,800	21,900	79,300
換算係数	α	0.0415	0.2303	0.0380
	β	0.0745	—	0.0702
	γ	1.2499	(β)1.1441	1.2641
基準単価(税込※・低圧)	円/kWh	0.165	0.161	0.186

※税込は消費税率10%

①基準燃料価格 (79,800円/kℓ)

- 基準燃料価格とは、料金設定の前提である原油・LNG・石炭の燃料価格（2022年11月～2023年1月の貿易統計価格）の加重平均値で、燃料費調整における価格変動の基準となるものです。
- 具体的には、各燃料の熱量構成比に原油換算係数を加味した係数（α、β、γ）を算定し、以下のとおり算定します。

[算定式]

$$82,572\text{円/k}\ell \times 0.0415 + 132,509\text{円/t} \times 0.0745 + 53,189\text{円/t} \times 1.2499 = 79,800\text{円/k}\ell$$

原油価格
α
LNG価格
β
石炭価格
γ

【参考】燃料費調整単価の算定諸元②

②基準単価 (0.165円/kWh)

- ・ 基準単価は、平均燃料価格が1,000円/kl 変動した場合の電力量 1 kWhあたりの調整単価です。
- ・ 具体的には、当社の火力発電の燃料消費数量（原油換算kl）をもとに、以下のとおり算定します。

[算定式]

$$\frac{11,219 \text{千kl} \times 1,000 \text{円/kl}}{780.86 \text{億kWh}} = 0.144 \text{円/kWh}$$

燃料消費数量(原油換算) 小売販売電力量 基準単価 (税抜、全電圧平均)

総合損失率差、消費税率を反映 → 0.165円/kWh

基準単価 (税込、低圧)

③平均燃料価格

- ・ 平均燃料価格とは、毎月の原油・LNG・石炭の貿易統計価格の加重平均値（前述のα・β・γで加重）であり、毎月変動します。
- ・ 具体的には、原油・LNG・石炭の実績貿易統計価格（3～5か月前の平均）にα・β・γをそれぞれ乗じて合計し算定します。

④毎月の燃料費調整

- ・ 毎月変動する平均燃料価格と基準燃料価格との差に基準単価（税込）を乗じて燃料費調整単価を算出します。

[算定式]

$$\frac{(\text{〇〇〇円/kl} - 79,800 \text{円/kl})}{1,000 \text{円/kl}} \times 0.165 \text{円/kWh} = \text{毎月の燃料費調整単価}$$

毎月の平均燃料価格 基準燃料価格 基準単価(税込)

(参考) 換算係数 (α・β・γ) の算定方法

	熱量構成比 A	原油換算係数※ B	換算係数 C=A×B
原油	0.0415	1.0000	0.0415 ……α
LNG	0.1065	0.6995	0.0745 ……β
石炭	0.8520	1.4670	1.2499 ……γ
合計	1.0000	-	-

※原油換算係数 LNG : 1 l 当たりの原油発熱量 (38.26MJ) ÷ 1 kg 当たりの LNG 発熱量 (54.70MJ)
 石炭 : 1 l 当たりの原油発熱量 (38.26MJ) ÷ 1 kg 当たりの石炭発熱量 (26.08MJ)